

「パパのためのコミュニケーションカアップ講座」の様子

【第3回】子どもと一緒に！えほんでコミュニケーション

講師：鈴木 健司さん

(よみきかせボランティアサークル 三丁目の鷹)



まずは、パパのおひざに子どもをのせて、えほんを読みながら、ふれあい遊びをしました。

「抱っこして抱っこして～♪」

↓

「たかいたかい～」 「こちょこちょ」 「ぴったんこ」 など。

少し緊張していた子どもたちが笑顔に☆

「たかいたかい～」は、パパの方が得意かもしれないし、スキンシップしながら読むのもおもしろいですね。

読み聞かせというと、書いてある文字どおり、静かに読まなきゃと思っている人もいるかもしれませんが、スキンシップとりながらでもいいし、あれこれとやりとりしながらでもいいし、子どもと楽しみながら読むのが一番。一言一句間違わないで読まなくてもいいし、最後まで読まなくてもいいんです。

いろんな楽しみ方・遊び方をしてほしいなと思います。



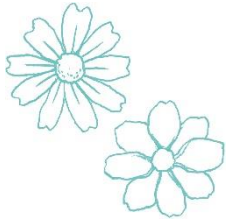
読んだ後、遊びにつなげることのできるえほんもあります。



積木のえほんの読み聞かせの後、本物の積木を使った遊びを紹介してもらいました。

←みんな、真剣に見ています。

子どもが大きくなってきたら、文字の多い絵本を読まなきゃと思うかもしれませんが、赤ちゃん絵本でも、読み方しだいで、小学生でも十分に楽しめると思います。



このように、講師の読み聞かせ実演やお話を聞いた後、パパ達は、会場にある絵本のなかから、お気に入りの1冊を選び、グループに分かれて、読み聞かせをし合いました。

最後に、もう一度、講師の読み聞かせがあって、講座は終了となりました。最初は緊張していたパパや子どもたちも、いろいろなえほんに触れたり、講師や他のパパの読み聞かせを聞いたりしながら、笑顔で過ごすことができました。特に、パパとの触れ合い遊びの時間には、たくさんの子どもの笑い声が聞こえてきました☆

♡アンケートより♡

- ・実演がメインで、実際にどうすればいいのかが分かりやすかった。
- ・子どもと楽しく絵本を読める方法を教えてもらったと思います。
- ・絵本を選ぶとき、ふれあって読み聞かせできるか、遊びにつながるかという目安があると知って、とても参考になりました。
- ・図書館で、多くの本のなかから、楽しく読み聞かせできるものを探したいと思いました。
- ・いろいろな絵本にふれあえてよかった。
- ・同じ本でも読み方ひとつでいろいろと伝え方があるのだと勉強になりました。
- ・絵本についての考え方が変わりました。
- ・子どもが大きくなってからも、会話やスキンシップが本（赤ちゃん絵本でも）のできる事がとても勉強になりました。

